

戦争を起こさせないために

戦争はなくすべきもの。それは言うまでもない事実です。ですが、現在もいまだに戦争が続いています。何故戦争はなくなるのでしょうか。

たとえば、ウクライナとロシア、イスラエルとハマスやヒズボラなどの現在も続いている戦争は、国連や様々な国が抑えようとしていますが、実際、その戦争を終わらすことができていません。

戦争が起きるのは民族や宗教の問題、領土や資源、考え方の違いなど様々な原因がありますが、戦争が一度始まると、その原因は解決しにくくなります。そのためには、最初から戦争を起こさせないようにすれば良いのではないかと、私は思いました。

そうするためには、戦争が起こりそうになっている予兆を事前に察知し、諸外国が戦争を起こさせないように粘り強く努めていくべきだと思います。

しかし、現状そこまで各国が戦争を無くそうとしているようには私には感じられません。

自国の利益優先で、他国の問題を関係がないと無関心でいたり、自国の利益が得られるからなどの理由で、戦争を仕掛けた国を支援しようとしている国もあるからではないでしょうか。

現在、このままでは戦争を無くすことが出来ないように感じます。ですから、世界中の人々が今まで以上に戦争を無くすように取り組むべきです。

そのように取り組む中でも最も重要なことは教育ではないかと思います。何故なら、戦争を知らない世代や、戦争に無関心な人たちが、戦争をしてはならないという意識を持つ必要があるからです。

ですが、現在の日本の学校教育では、戦争についての学習があまりにも少なすぎると思います。なので、学校で戦争について学ぶ時間をもっと多くすべきです。そして、戦争問題についての関心を高めることが必要なのだと思います。

そのように教育によって人々の意識を変え、それぞれが自分の事として戦争について考えていくことで、将来、社会を構成していく人たちが国を動かし、世界の平和を実現していくのではないのでしょうか。

令和六年十二月一日

大津市立打出中学校

川部 夏星